



みやざき市 ケアマネ協だより

宮崎市介護支援専門員
連絡協議会
広報誌

発行日：令和4年2月吉日

こんにちは！宮崎市本郷地区地域包括支援センターです！



宮崎市内19箇所の包括支援センターの中から本郷地区を紹介します。
65歳以上の方の人口が5,800人、高齢化率27%で、歴史ある住宅地、新興住宅地、農村地域から構成されています。
健幸運動教室13箇所、ふれあいサロン8箇所、自主グループ3箇所と地域活動が活発に行われています。地縁組織、団体の皆さまの活動も活発で、ふれあい会食会等の地域イベントが活発に開催されています。
今回は、地域包括支援センターの役割を紹介させていただきます。ワンストップ相談、つなぎの役割もごさいますので、お気軽にお声がけください！

健康や介護について

- ・健幸運動教室やフレイル予防スクールなど、介護予防につながる活動の紹介を行います
- ・介護保険申請の相談や手続きを行います



権利や財産について

- ・高齢者虐待防止に取り組みます
- ・認知症などにより財産管理が困難な方へ、相談に応じて支援します



地域包括支援センターでは、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等のスタッフが皆さまからのご相談をお待ちしております♪

さまざまな相談について

- ・介護や福祉、保健、医療、生活上の困り事や悩み事などあらゆる相談に応じます



地域での暮らしについて

- ・地域住民の皆さん、関係機関、専門職の皆さんとの連携を図りながら、高齢者の方にとって住みよいまちづくりを進めていきます



宮崎市本郷地区地域包括支援センター

〒880-0921

宮崎市大字本郷南方4061番地（JA宮崎中央 agri base 敷地内）

TEL 0985-72-6001

FAX 0985-72-6002

消費者トラブルにお気を付けください。

新型コロナウイルス感染対策に便乗した消費者トラブルが発生していますので注意喚起のほどよろしくお願いします。

ワクチン接種関連

「ワクチンを優先的に接種できる」や公的機関を名乗る者から「新型コロナウイルスのワクチンが接種できる。キャッシュバックされるので10万円を振り込むように」と所管省庁を騙った電話があった。



※今後は「3回目の新型コロナウイルスワクチン接種の優先順位を上げる」「ワクチンパスポートを優先的に配布する」と言って金銭を要求する詐欺も想定されます。

給付金・助成金関連



- ①コロナ関連の各種給付金とマイナンバーカードの申請代行をするとの電話があった。
- ②個人情報や口座情報を聞き出そうとした。



※給付金などが出た際には、その都度、新手の詐欺が出てくることをご利用者にもお知らせください。

宮崎市でも保険料の還付金詐欺が報告されていますので、ご注意ください。

HALEたちはな 2021年10月1日オープン(宮崎県内初!!)

今回、多職種連携ともいえる
難病の子どもと家族を支える地域
連携ハブ拠点となる「HALEたちはな」
の取材に伺いまし

た(^^♪

施設内の様子



他にも、訪問診療所・訪問看護ステーション・短期入所・
日中一時支援・研究室・カフェが併設されています。

施設長・みつばち診療所院長
宮崎医大の先生にお話を取材
させていただきました。



愛甲晃子さん
いつもお世話になってます



施設長
堤育子様(左)

医療的なケアが必要な子ども達はここ10年間でほぼ2倍と増えています。その中には0歳から人工呼吸をつけている乳児も多く受け入れる場所がないのが現状にあり、子供も大人も切れ目のない地域で支援していけたらと思います。立ち上げる前に数回ごちゃまぜ会議を重ね当事者・地域の方・建築関係者・医師・看護師等の多職種連携の方が参加されており、宮崎大学と連携した医療人材の拠点として現在ボランティアとして学生の方が来られて「こんな子どもたちがいた」「お母さん達がこんなふうに過ごされていたなあ」等と感じて頂き、在宅医療というものを知る場ともなっています。共生型なので65歳までの介護保険もご利用できます。又、介護孤立支援として介護だけで終わるのではなく社会参加へとつなげていく為にもカフェを機能させていきます。カフェには人工呼吸器をつけられている「愛甲晃子」さんが作られた小物販売もされており本人と家族が社会とのつながりサポートの一つとなっているのが印象に残りました。

みつばち
診療所



などありましたらいつでもご連絡
下さい。今後とも、何卒よろ
しくお願い致します。



次の世代の専門職にとって
多職種連携はとても大事なスキルになります。その場としてHALE
たちはなは大きなチャンスを提供
して下さると期待しています。特
に若い医学生や研修医にとって
は、患者さんやご家族の生活場に近いところで学べる
とインパクトが大きいのではと日頃から考えていました。
今回は、特に医療的ケア児の連携に関することにより
深く学ぶことができると思います。もちろん日常業務の
中で支障のない範囲内で、皆様のご理解があつてのこと
です。地域の皆様、スタッフの皆様のご理解とご協力
をお願いします。また先日の研修会でも感じたこと
ですが、当事者の声をもっと我々対人専門職は聞いて学び
のエンジンにするべきだと思いました。医療人だけが
頑張るのではなく、地域住民や行政とも一緒に力を合
わせていきたいと考えてます。



潤和会記念病院で脳神経外科の医師をしながら、日本認知症ケア学会 九州沖縄2地域部会長をされ、認知症ケア上級専門士・DCMマッパー・認知症サポート医の経歴を持つ田代学先生が認知症ケア講座のYouTubeチャンネルを開設。認知症の基礎的な知識から、より専門的な医療知識、最新の認知症治療薬まで幅広く解説しています。そんな先生にお話を伺ってきました。

Q1.なぜYouTubeを始めようと思ったのですか？

昨年1月、認知症ケア学会の九州学会が新型コロナウイルスの関係で対面で出来ず、動画を作ったことが始まりでした。2021年12月1日現在で53本、総視聴回数26,000回となっています。

Q2.いままでに作られた動画の中で大変だったものはありますか？

中学生向けに作った動画が難しかったですね。認知症をどこまで下げて、わかりやすくするかが難しかったですね。実際に中学生に見てもらったときは、笑いも、うなづきもあり良かったです。その後感想文が来ましたが、よく理解している人も、ちょっとわかってない人もいました。とはいえ、中学生向きというより一般の方向けの内容になっています。



Q3.ケアマネさんにこの動画どのように使ってほしいですか。

認知症の研修の教材としてや、認知症の方を家族に持つ人など幅広く見てほしいです。これからの超高齢化社会における認知症の理解は必要だと思っています。

Q4.先生は宮崎の郷土史にも精通されていますがきっかけは何ですか？

郷土史を始めた理由というより、昔のことを知るといいう事が、高齢者とのコミュニケーションツールであることがわかりました。



Q5.先生の今後の目標を教えてください。

YouTube動画を100本上げることです！



田代先生の
YouTubeの1コマ

田代先生ありがとうございました！
これからのご活躍も期待しています！
田代先生のYouTubeのQRコードです。ぜひ覗いてみてください！



編集後記

毎日寒い日が続いていますが、お風邪などひかれていないでしょうか？
最近「趣味は何ですか？」と聞かれる機会があり、無趣味な私は返答に困ってしまいます。そこで今回は趣味と健康の関係性について調べてみました。趣味が健康に与える効果として①リラックスできる。②孤立を防ぐ。③健康寿命を延ばす。があるようです。③に関しては日本免疫学会誌に「趣味を持っていると、身体的活動量が多くなり、自立するために必要な神経回路網や筋骨格能力などが強化される可能性があり、ADLやIADLの低下を防ぎ健康寿命を延ばす」と掲載されたそうです。私もこれから趣味を見つけて健康寿命を延ばしたいと思います。早速バドミントンを始めてみます(笑)

編集スタッフ: 広報・渉外委員一同